

看護学科

【教育理念】

本学科では、現代のヘルスケアニーズに応じ得る資質の高い看護専門職業人を育成するために、看護に関する高度な専門知識・技術を教授研究し、“いのち”に対する豊かな感性と知性、幅広い人間性を培う。あわせて、知的・道徳的・応用的能力を発揮するための基礎的な能力を養うとともに、人間相互の関係性を大切に、人間愛を高め、あらゆる健康のレベルにある人々に対して、その人々が最良の状態で生活し、自己実現を図るための的確な看護判断と実践のための基礎的な能力を修得する。これらを通して、看護の専門性を深め、地域・社会さらには国際社会においても貢献できる人材を育成することを目指す。

「“いのち”に対する豊かな感性と知性、幅広い人間性を備え、的確な看護判断と実践のための基礎的な能力を養い、現代のヘルスケアニーズに応じ得る資質の高い看護専門職業人を育成する。」

【教育目標】

1. 人間と自然を愛し、“いのち”を尊重し、向き合うことができる豊かな人間性を育む。
2. 看護の対象の個別性・特性を尊重し、“ヒューマン・ケアリング”を行うことのできる能力を養う。
 - (1) 人間の基本的権利を擁護する姿勢を持つことができる。
 - (2) 事象への興味・関心を深め、豊かな感性を育み、“苦痛や苦悩”を受け止めて共感的に理解する姿勢を持つことができる。
 - (3) 科学的思考力を基盤に、対象の健康経過に伴う身体・精神・社会的“状況”を的確に判断し、柔軟かつ創造的なヒューマン・ケアリングを行うことができる。
3. 広く世界に目を向け、保健・医療・福祉チームの一員として、関係分野の職種と協働、連携を図り、看護職の役割を果たすことができる能力を養う。
 - (1) 国際保健や異文化の看護に目を向け、国際看護活動を進めていくための基礎的な知識や態度を身につける。
 - (2) 保健・医療・福祉分野への理解を深め、相互に機能していくための連携能力の基礎を身につける。
4. 社会の変化に対応し、常に自己啓発するとともに、創造的探究心を高め、看護の本質を追究し、展望する態度を養う。
 - (1) 課題を見出し、向き合い、主体的に解決行動を起こす態度を身につける。
 - (2) 倫理的感受性と態度を身につける。
 - (3) 看護現象に誠実に向き合い、科学的に探究し、看護実践の質の向上に寄与する研究的態度を身につける。

【アドミッションポリシー】

1. 人と自然を愛し、“いのち”を尊重し、育むところをもっている人
2. 相手の言葉や投げかけに関心を寄せ、誠実に対話し、対応することができる人
3. 問題を発見し、解決する意欲を持ち、行動することができる人
4. 広く世界に目を向け、異文化に関心を寄せる人

高等学校等において、国語、数学、英語および理科の基礎学力を身につけ、それらの学習を通して、読解力、表現力、倫理的思考力、問題解決力、および感性等をバランスよく身につけている人を求めます。さらに全教科の学習や教科外活動を通して、他者への配慮や社会的現象に興味関心を寄せ、“いのち”に対する温かいまなざしと高い倫理観に繋がる姿勢をもつことが望まれます。

【カリキュラムポリシー】

“いのち”に対する豊かな感性と知性、及び幅広い人間性を備えた資質の高い看護専門職業人を育成するために、以下の方針に基づいたカリキュラムを編成した。

1. 「基盤教育分野、専門基礎分野、専門分野」科目の教育内容が有機的に、学修できるよう考慮し科目群を編成した。基盤教育分野からは、自らの「立ち位置」を確認し、看護専門職としての今後の展望に繋がる柔軟な視点を養うことを意図している。また専門基礎分野では、看護学の専門性を支援する科目として、既に体系づけられている近接学問領域の知識や理論を「人間・保健科学系、社会科学系」に区分して、科目群を編成した。
2. 施設内から在宅・地域への“継続的な看護”、及び看護の対象のQOL（生活の質）を高める“総合的な看護”を目指して、その実践力を的確に養うために、看護学を「基礎看護学、健康支援看護学、療養支援看護学、母子支援看護学」の4領域に整理区分した。さらにそれぞれの学修内容を、臨地実習において深化し統合できる様、3年次後期を中心に各臨地実習科目を編成した。
3. 看護学の科目群の設置・編成においては、“実践の科学”である看護学の特性を生かし、「看護学の基本⇒看護学の展開⇒看護学の臨床⇒看護学の発展と探求」と、系統的な区分編成をし、過程性、系統性を考慮した。

この編成においては、「臨床力（臨地に身を置き、多様な現実を読み取り、考え行動する力）」を高めることを重視し、「看護学の臨床」の内容充実を力を注いでいる。特に、1年次初期の早期学修（アーリーエクスポージャープログラム）の導入により看護への興味・関心を広げ、4年次の課題別総合実習において、将来への展望を拓くことを意図した。加えて臨地実習施設との人事交流等を考慮した編成を行っている。

4. 学生の資質を調和よく発展させ、かつ身につけた知識や技術を統合し、創造的に課題解決していく姿勢を養うために、4年間の学修の効果的な統合として卒業年次の研究等の科目を編成している。

加えて4年間の科目群編成において、教員と学生の対話や、ディスカッションを深める等の双方向の教育の実践、さらにはチューターによる4年間を縦断した個別的支援等、効果的な教授・学修過程であることを念頭に、科目間の関連を考慮して編成した。

【ディプロマポリシー】

1. “いのち”に対する温かいまなざしと、高い倫理観を身につける。
2. 看護の対象の基本的人権を擁護し、“苦痛や苦悩”を受け止め、共感的に理解するヒューマンケアの視点を身につける。
3. 科学的思考力を基盤に、健康レベルに応じた的確な判断力の基礎と、安全に看護実践を行う基本的技術を修得する。
4. 患者・家族や保健・医療・福祉チームと良好なコミュニケーションをとり、連携を深めるための基本的態度を身につける。
5. 医療に対する国際感覚を持ち、看護の本質を追究し、展望するための自己研鑽能力を身につける。

【取得できる資格】

1. 看護師国家試験受験資格
2. 保健師国家試験受験資格（選択制）
 - * 保健師国家試験受験資格を得ることにより、社会福祉主事任用資格が取得できる。
3. 養護教諭一種免許状
4. その他
 - * 保健師免許取得後、申請により養護教諭二種免許状（P81の別表D）「第66条の6に定める科目」をすべて修得していること。）
 - * 保健師免許取得後、申請により第一種衛生管理者免許

【履修要領】

I. 卒業所要単位

看護学科においては、本学に4年以上在学し、124単位以上を修得した者に卒業が認定され学士の学位が授与される。124単位の内容は次のとおりである。

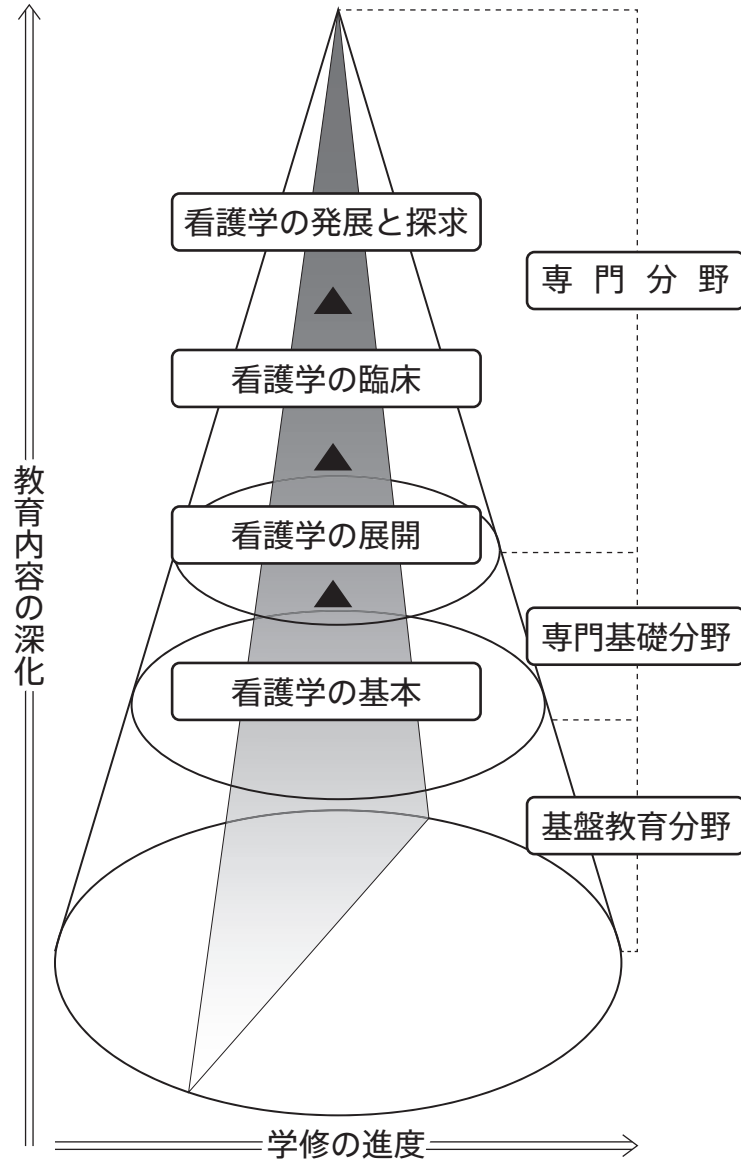
1. 必修科目については、基盤教育分野から10単位、専門基礎分野から22単位、専門分野から70単位、合計102単位を修得する。
2. 選択科目については、基盤教育分野から4単位以上、専門基礎分野の②から1単位以上、専門分野の③から5単位以上、④から1単位以上を修得するとともに、すべての選択科目から11単位以上、合計22単位以上修得する。

看護学科のカリキュラム概念図とカリキュラム編成

看護学科教育理念

“いのち”に対する豊かな感性と知性、幅広い人間性を備え、的確な看護判断と実践のための基礎的能力を養い、現代のヘルスケアニーズに応じ得る資質の高い看護専門職業人を育成する。

【カリキュラム概念図】



専門分野： 看護の統合 看護の継続
実習などで実践力（知識・技術・態度の統合）を高め、病院から地域へと看護を継続できる専門知識を修得します。

専門基礎分野： 科学的思考力 チーム医療
医療の現場で求められる科学的知識、チーム医療などに必要な知識を修得します。

基盤教育分野：
ときわコンピテンシーに掲げる諸能力の基盤となる力を幅広く修得する。

カリキュラムポリシー	年次経過 分野/区分	1年次		2年次		3年次		4年次		卒業要件	ディプロマポリシー		
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
4領域に区分 基礎看護学 健康支援看護学 療養支援看護学 母子支援看護学	看護学の発展と探求					看護研究方法論(2)	看護管理論(1)*	←看護学研究(2)→		必修(70)単位 選択必修(6)単位以上 ①②③④を含む選択科目より(11)単位以上 合計124単位以上	1. “いのち”に対する温かいまなざしと、高い倫理観		
	看護学の臨床	看護活動基礎実習(1)	基礎看護学実習Ⅰ(1)	基礎看護学実習Ⅱ(看護過程)(2)	地域活動基礎実習(1)	療養支援実習Ⅰ(老年)(2)	健康支援実習Ⅰ(在宅)(2) 健康支援実習Ⅱ(精神)(2) 母子支援実習Ⅰ(小児)(2)**	課題別総合実習(4)					
	看護学の展開			看護対象論Ⅱ(成人)(1) 看護対象論Ⅲ(老年)(1) 看護対象論Ⅳ(小児)(1) 地域包括ケア論(1)	慢性病看護論(2) クリティカルケアⅠ(2)** 看護対象論Ⅳ(母性・女性)(1) 在宅看護論Ⅳ(1) 母性看護論(2) 精神看護論(1)** 老年看護論(2) 学校保健(2)*/** 健康相談の理論と方法(2)*/** 障害児保育(2)	緩和ケア(1) 精神援助論(2) 在宅援助論(2) 母性看護論(2) 小児看護論(2)** クリティカルケアⅡ(1) リハビリテーション看護論(1) 養護概説(2)** 家族看護学(2)							
	看護学の基本	看護学概論(2)** 生活健康論(2)**	看護対象論Ⅰ(1) 成人看護学概論(1) 老年看護学概論(1) 小児看護学概論(1)** 精神看護学概論(1)** 地域看護学概論(1)	母性看護学概論(1) 在宅看護学概論(1)	基本看護技術Ⅱ(診療の補助技術)(2) 基本看護技術Ⅲ(フィジカルアセスメント)(1) 基本看護技術Ⅳ(看護過程)(1)								
専門基礎分野	人間・保健科学系	看護解剖生理学Ⅰ(1)** 看護解剖生理学Ⅱ(1)** 健康科学総論(1)**	栄養学(2)**		臨床看護総論(2)					必修(22)単位 選択必修(1)単位以上	2. 看護の対象の基本的な人権を擁護し、“苦痛や苦悩”を受け止め、共感的に理解するヒューマンケアの視点		
	社会科学系		看護病理・病態学(1) 公衆衛生学(2)** 感染看護学(1)**	症候論Ⅰ(1) 薬理学(1)** 臨床検査総論(1)*②	症候論Ⅱ(1) 医療機器総論(1)*②	保健医療福祉総論(2)* 法と看護(1) 医療安全(1) IPW論(1) 国際保健医療活動Ⅱ(1)*②	国際保健医療活動Ⅰ(1)	保健医療福祉行政論(1)*②	必修(2)単位以上 選択必修(4)単位以上	3. 科学的思考力を基盤に、健康レベルに応じた的確な判断力の基礎と、安全に看護実践を行う基本的技術			
基盤教育分野	創造実践科目群	基盤教育分野のカリキュラム表を参照										必修(10)単位 選択必修(4)単位以上	4. 患者・家族や保健・医療・福祉チームと良好なコミュニケーションをとり、連携を深めるための基本的態度
	人間探究科目群	情報基礎(1)**** 健康スポーツ科学Ⅰ(1)**** 健康スポーツ科学Ⅱ(1)**** 英語コミュニケーションⅠ(1)****	英語コミュニケーションⅡ(1)****								①4単位以上選択必修		
	学びの始め科目群	まなぶる・ときわびとⅠ(2)	まなぶる・ときわびとⅡ(1)										
教職に関する科目	教育社会学(2)*** 教育原論(2)***	教育心理学(2)***	教職概論(2)*** 生徒指導論(2)***	特別支援教育(1)*** 総合的な学習の時間の指導法(1)*** 教育課程総論(2)*** 道徳教育と特別活動論(2)*** 教育方法・技術論(2)*** 教育相談(2)*** 養護実習Ⅰ(1)***							養護実習指導(1)*** 養護実習Ⅱ(3)*** 教職実践演習(養護)(2)***	備考1	5. 医療に対する国際感覚を持ち、看護の本質を追究し、展望するための自己研鑽能力
			保健師課程に関する科目	公衆衛生看護概論(2)* 健康教育の理論と方法(1)*	公衆衛生看護展開論Ⅰ(2)* 公衆衛生看護展開演習Ⅰ(2)* 産業保健(1)*	公衆衛生看護管理論(1)* 公衆衛生看護学実習Ⅰ(2)* 公衆衛生看護学実習Ⅱ(3)*				備考2			

備考1：養護教諭一種免許状の取得：卒業所要単位を修得するとともに養護に関する科目（**印）32単位、教職に関する科目（***印）27単位、合計59単位以上を修得しなければならない。また、基礎科目として、****印の8単位を修得しなければならない。
養護教諭二種免許状の取得：基礎科目として、****印の8単位を修得しなければならない。
備考2：保健師国家試験受験資格の取得：卒業所要単位を修得するとともに*印の26単位を修得しなければならない

看護学科 カリキュラムマップ

ときわコンピテンシー		知性・感性・専門性・市民性				
基盤	教育課程	【DP1】	【DP2】	【DP3】	【DP4】	【DP5】
		"いのち"に対する温かいまなざしと、高い倫理観を身につける	看護の対象の基本的な権利を擁護し、"苦痛や苦悩"を受け止め、共感的に理解するヒューマンケアの視点を身につける	科学的思考力を基盤に、健康レベルに応じた的確な判断力の基礎と、安全に看護実践を行う基本的技術を修得する	患者・家族や保健医療福祉チームと良好なコミュニケーションをとるための基本的態度を身につける	医療に対する国際感覚を持ち、看護の本質を追究し、展望するための自己研鑽能力を身につける
まなぶる	とさわびと	○			○	
まなぶる	とさわびと	○			○	
大学道場	miniゼミA	○			○	
大学道場	miniゼミB	○			○	
情報	基礎		○			
情報	メディア演習		○			
健康	スポーツ科学I	○				
健康	スポーツ科学II	○				
健康	スポーツ科学III	○				
アカデミックライティング			○			
コミュニケーション論			○			
英語コミュニケーションI					○	
英語コミュニケーションII					○	
英語Aa (Communicative English Basic)					○	
英語Ab(Communicative English Intermediate)					○	
英語Ac (Communicative English Advanced)					○	
英語B (Presentation Skills)					○	
英語C (Current Issues)					○	
手話コミュニケーション		○				
多文化コミュニケーション		○				
いのちと共生		○				
人類と地球環境		○				
暮らしの中の数学			○			
基礎統計学			○			
暮らしの中の物理学			○			
現代社会と化学			○			
人体のふし			○			
現代社会と生命科学			○			
安全			○			
人類と農学			○			
プログラミング入門			○			
日本国憲法			○			
哲学と倫理			○			
生命倫理			○			
芸術文化論			○			
文学			○			
日本通史			○			
国際社会論			○			
現代社会学			○			
政治学			○			
経済学			○			
組織マネジメント論			○			
臨床心理学			○			
人間関係論			○			
教育と人間			○			
災害とまちづくり			○			
国際医療			○			
科学技術論			○			
地域との協働A					○	
地域との協働B					○	
コミュニティデザイン					○	
プロジェクトデザイン					○	
超とさわびと					○	

専門基礎分野	人間・保健科学系		社会科学系	
	人間・保健科学系	社会科学系	社会科学系	社会科学系
看護学I	○			
解剖生理学	○			
病理学	○			
臨床看護学	○	○		
健康科学	○			
健康科学総論	○			
薬理学	○			
看護病態学	○			
看護病態学I	○			
看護病態学II	○			
臨床検査総論	○			
臨床検査総論	○			
公衆衛生	○			
感染看護学	○			
医療安全	○			
保健福祉総論	○			
法と看護	○			
国際保健	○			
国際保健活動I	○			
国際保健活動II	○			
保健統計学	○			
保健福祉行政	○			

ときわコンピテンシー		知性・感性・専門性・市民性					
教育課程	ディプロマポリシー	[DP1]	[DP2]	[DP3]	[DP4]	[DP5]	
		"いのち"に対する温かいまなざしと、高い倫理観を身につける	看護の対象の基本的な権利を擁護し、"苦痛や苦悩"を受け止め、共感的に理解するヒューマンケアの視点を身につける	科学的思考力を基礎に、健康レベルに応じた的確な判断力の基礎と、安全に看護実践を行うための技術を修得する	患者・家族や保健・医療・福祉チームと良好なコミュニケーションをとり、連携を深めるための基本的態度を身につける	医療に対する国際感覚を持ち、看護の本質を追究し、展望するための自己研鑽能力を身につける	
教育課程	学修成果	看護学概論	○				
		生活健康論Ⅰ	○				
看護学の基本		成人看護学概論	○	○	○	○	
		老年看護学概論	○	○	○	○	
看護学の展開		母性看護学概論	○		○		
		小児看護学概論	○	○	○	○	
看護学の臨床		在宅看護学概論	○	○	○	○	
		精神看護学概論	○	○	○	○	
看護学の発展と探求		基本看護技術Ⅰ(共通技術・生活援助技術)	○	○	○	○	
		基本看護技術Ⅱ(診療の補助技術)	○	○	○	○	
保健師分野	保健師の課程に	基本看護技術Ⅲ(フィジカルケアセサメント)	○	○	○	○	○
		基本看護技術Ⅳ(看護過程)	○	○	○	○	○
保健師の課程に		慢性病看護学概論	○	○	○	○	
		ケリテイカケアⅠ	○	○	○	○	
保健師の課程に		緩和ケア	○	○	○	○	
		看護対象論Ⅱ(成人)	○	○	○	○	
保健師の課程に		看護対象論Ⅲ(老年)	○	○	○	○	
		看護対象論Ⅳ(母性・父性)	○	○	○	○	
保健師の課程に		看護対象論Ⅴ(小児)	○	○	○	○	
		在宅看護学概論	○	○	○	○	
保健師の課程に		地域看護学概論	○	○	○	○	
		精神看護学概論	○	○	○	○	
保健師の課程に		老年看護学概論	○	○	○	○	
		在宅看護学概論	○	○	○	○	
保健師の課程に		精神看護学概論	○	○	○	○	
		小児看護学概論	○	○	○	○	
保健師の課程に		ケリテイカケアⅡ	○	○	○	○	
		リハビリテーション看護学	○	○	○	○	
保健師の課程に		家族看護学	○	○	○	○	
		学校保健概論	○	○	○	○	
保健師の課程に		養護特別支援教育	○	○	○	○	
		健康相談の理論と方法	○	○	○	○	
保健師の課程に		疫学	○	○	○	○	
		看護活動基礎実習Ⅰ	○	○	○	○	
保健師の課程に		基礎看護学実習Ⅰ	○	○	○	○	
		基礎看護学実習Ⅱ(看護過程)	○	○	○	○	
保健師の課程に		地域活動基礎実習	○	○	○	○	
		療養支援実習Ⅰ(老年)	○	○	○	○	
保健師の課程に		療養支援実習Ⅱ(慢性に経過する患者の看護)	○	○	○	○	
		療養支援実習Ⅲ(ケリテイカケア看護)	○	○	○	○	
保健師の課程に		母子支援実習Ⅰ(小児)	○	○	○	○	
		母子支援実習Ⅱ(母性)	○	○	○	○	
保健師の課程に		健康支援実習Ⅰ(在宅)	○	○	○	○	
		健康支援実習Ⅱ(精神)	○	○	○	○	
保健師の課程に		課題別総合実習	○	○	○	○	
		看護学研究論	○	○	○	○	
保健師の課程に		災害看護学	○	○	○	○	
		看護学管理論	○	○	○	○	
保健師の課程に		看護学教育論	○	○	○	○	
		看護学文化看護論	○	○	○	○	
保健師の課程に		医療英語	○	○	○	○	
		IPW演習	○	○	○	○	
保健師の課程に		医療・看護特論	○	○	○	○	
		公衆衛生看護学概論	○	○	○	○	
保健師の課程に		公衆衛生看護学概論	○	○	○	○	
		公衆衛生看護学演習	○	○	○	○	
保健師の課程に		公衆衛生看護学演習Ⅰ	○	○	○	○	
		公衆衛生看護学演習Ⅱ	○	○	○	○	
保健師の課程に		職業概論	○	○	○	○	
		教育概論	○	○	○	○	
保健師の課程に		教育心理学	○	○	○	○	
		教育社会学	○	○	○	○	
保健師の課程に		教育課程総論	○	○	○	○	
		道徳教育と特別活動	○	○	○	○	
保健師の課程に		総合的な学習の時間の指導法	○	○	○	○	
		教育方法・技術論	○	○	○	○	
保健師の課程に		生徒指導論	○	○	○	○	
		教育実習指導	○	○	○	○	
保健師の課程に		養護実習Ⅰ	○	○	○	○	
		養護実習Ⅱ	○	○	○	○	
保健師の課程に		職業実践演習(養護)	○	○	○	○	
			○	○	○	○	

MEMO

学科別履修要領／看護学科

区分	授業科目	授業形態	単位数			1年		2年		3年		4年		備考
			必修	選択	自由	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
基盤教育分野	学びの始め	まなぶる ▶ときわびと I	演習	2			2							①基盤教育分野より4単位以上選択必修
		まなぶる ▶ときわびと II	演習	1				1						
		大学道場 miniゼミ A	演習		1		1							
		大学道場 miniゼミ B	演習		1			1						
		情報メディア基礎	演習		1		1							
		健康スポーツ科学 I	講義	1			1							
		健康スポーツ科学 II	演習	1			1							
		健康スポーツ科学 III	実習					1						
		アカデミックライティング	演習		1			1						
		コミュニケーション論	講義		1		1							
		英語コミュニケーション I	演習	1			1							
		英語コミュニケーション II	演習	1				1						
		英語A a (Communicative English Basic)	演習		1		1							
		英語A b (Communicative English Intermediate)	演習		1			1						
		英語A c (Communicative English Advanced)	演習		1					1				
		英語 B (Presentation Skills)	演習		1				1					
		英語 C (Current Issues)	演習		1					1				
		手話コミュニケーション	演習		1		1							
		多文化コミュニケーション	演習		1			1						
		いのちと共生	講義		1			1						
		人類と地球環境	講義		1		1							
		暮らしの中の数学	講義		1		1							
		基礎統計学	講義		1		1							
		暮らしの中の物理学	講義			1	1							
		現代社会と化学	講義		1		1							
		人体のふしぎ	講義		1		1							
		現代社会と生命科学	講義		1		1							
		安全科学	講義		1		1							
		人類と農学	講義		1		1							
		プログラミング入門	演習		1			1						
		日本国憲法	講義		2		2							
		哲学と倫理	講義		1		1							
		生命と倫理	講義	1				1						
		芸術文化論	講義		1		1							
		文学	講義		1		1							
		日本通史	講義		1		1							
		国際社会学論	講義		1			1						
		現代社会学	講義		1			1						
		政治学	講義		1			1						
		経済学	講義		1		1							
		組織マネジメント論	講義		1			1						
		心理臨床学	講義	1				1						
	人間関係論	講義		1		1								
	教育と人間	講義		1		1								
	災害とまちづくり	講義		1		1								
	国際理解論	講義		1		1								
	科学技術論	講義		1			1							
	創造実践	地域との協働 A	演習	1			1							
		地域との協働 B	演習	1				1						
		コミュニティデザイン	演習	1			1							
		プロジェクトデザイン	演習	1				1						
		超ときわびと	演習		1				1					
専門基礎分野	人間保健科学系	看護解剖生理学 I	講義	1			1							
		看護解剖生理学 II	講義	1			1							
		臨床看護総論	講義	2					2					
		栄養学	講義	2				2						
		健康科学総論	講義	1			1							
		薬理学	講義	1				1						
		看護病理・病態学	講義	1				1						
		症候論 I	講義	1					1					
		症候論 II	講義	1						1				
		臨床検査総論	講義		1					1				
		医療機器総論	講義		1						1			
			公衆衛生学	講義	2				2					
	感染看護学	講義	1				1							
	医療安全	講義	1							1				

①基盤教育分野より4単位以上選択必修

② *印の選択科目から1単位以上選択必修

学科別履修要領／看護学科

区分	授業科目	授業形態	単位数			1年		2年		3年		4年		備考	
			必修	選択	自由	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
専門基礎分野	保健医療福祉総論	講義	2							2					
	法と看護	講義	1							1					
	IPW論	講義	1							1					
	国際保健医療活動Ⅰ	講義	1									1			
	国際保健医療活動Ⅱ	演習		1							1		1		
	保健医療福祉計学	講義	2					2							
専門	保健医療福祉行政論	講義		1								1	*	③ 5単位以上 選択必修	
	看護学概論	講義	2			2									
	生活健康論	講義	2			2									
	看護対象論Ⅰ	演習	1				1								
	成人看護学概論	講義	1				1								
	老年看護学概論	講義	1				1								
	母性看護学概論	講義	1					1							
	小児看護学概論	講義	1				1								
	在宅看護学概論	講義	1					1							
	地域看護学概論	講義	1				1								
	精神看護学概論	講義	1				1								
	基本看護技術Ⅰ(共通技術・生活援助技術)	演習	2				2								
	基本看護技術Ⅱ(診療の補助技術)	演習	2					2							
	基本看護技術Ⅲ(フィジカルアセスメント)	演習	1					1							
	基本看護技術Ⅳ(看護過程)	演習	1					1							
	看護学の基本	慢性病看護論	講義	2					2						
		クリティカルケアⅠ	講義	2					2						
		緩和ケア	講義	1						1					
		看護対象論Ⅱ(成人)	講義	1					1						
		看護対象論Ⅲ(老年)	講義	1					1						
		看護対象論Ⅳ(母性・父性)	演習	1					1						
		看護対象論Ⅴ(小児)	演習	1					1						
		在宅看護特性論	演習	1					1						
		地域包括ケア論	演習	1					1						
精神看護特性論		演習	1					1							
老年援助論		演習	2					2							
在宅援助論		演習	2						2						
看護学の発展	精神援助論	演習	2					2							
	母性援助論	演習	2					2							
	小児援助論	演習	2					2							
	クリティカルケアⅡ	講義		1					1						
	リハビリテーション看護論	講義		1					1						
	家族看護学	講義		2					2						
	学校保健	講義		2					2						
	養護概説	講義		2					2						
	特別支援教育	講義		1					1						
	健康相談の理論と方法	講義		2					2						
	疫学	講義		2						2					
	看護学の臨床	看護活動基礎実習	実習	1			1								
基礎看護学実習Ⅰ		実習	1				1								
基礎看護学実習Ⅱ(看護過程)		実習	2					2							
地域活動基礎実習		実習	1						1						
療養支援実習Ⅰ(老年)		実習	2							2					
療養支援実習Ⅱ(慢性に経過する患者の看護)		実習	2							2					
療養支援実習Ⅲ(クリティカルケア看護)		実習	2							2					
母子支援実習Ⅰ(小児)		実習	2							2					
母子支援実習Ⅱ(母性)		実習	2							2					
健康支援実習Ⅰ(在宅)		実習	2							2					
健康支援実習Ⅱ(精神)		実習	2							2					
課題別総合実習		実習	4								4				
看護学発展と探求	看護研究方法論	講義	2						2						
	災害看護学	講義	1								1				
	看護学研究	演習	2								2				
	看護管理論	講義	1							1					
	看護教育論	講義		1							1				
	異文化看護論	講義		1							1				
	医療英語	演習		1							1				
	IPW演習	演習		1							1				
医療・看護特論	講義	1									1				
小計		102	64	1	39	33	21	20	24	17	13	2			

卒業単位：102単位＋12単位(選択必修)＋10(選択)＝124単位

学科別履修要領／看護学科

区 分	授 業 科 目	授業形態	単位数			1 年		2 年		3 年		4 年		備 考
			必修	選択	自由	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
関保 健師 課程 に 関 する 科 目 に	公衆衛生看護学概論	講義		2					2					
	公衆衛生看護学展開論	講義		2						2				
	公衆衛生看護学展開論演習	演習		2						2				
	健康教育の理論と方法	講義		2					2					
	公衆衛生看護学管理論	講義		1								1		
	産 業 保 健	講義		1						1				
	公衆衛生看護学実習Ⅰ	実習		2								2		
	公衆衛生看護学実習Ⅱ	実習		3								3		
小 計			0	15	0	0	0	0	4	5	0	6	0	
合 計			102	79	1	39	33	21	24	29	17	19	2	
教 育 の 基 礎 的 理 解 に 関 す る 科 目 等	教 職 概 論	講義			2				2					
	教 育 原 論	講義			2	2								
	教 育 心 理 学	講義			2		2							
	教 育 社 会 学	講義			2	2								
	特 別 支 援 教 育	講義		1						1				
	教 育 課 程 総 論	講義			2					2				
	道 徳 教 育 と 特 別 活 動 論	講義			2					2				
	総合的な学習の時間の指導法	講義			1					1				
	教 育 方 法 ・ 技 術 論	講義			2					2				
	生 徒 指 導 論	講義			2				2					
	教 育 相 談	講義			2					2				
	養 護 実 習 指 導	講義			1								1	
	養 護 実 習 Ⅰ	実習			1					1				
	養 護 実 習 Ⅱ	実習			3								3	
教 職 実 践 演 習 (養 護)	演習			2									2	
小 計					26	4	2	4	11	0	0	4	2	
総 合 計			102	79	27	43	35	25	35	29	17	23	4	

- (注意) 1. 授業科目の学年配当は標準を示すものです。時間割表と一致しない場合があるので注意すること。
 2. 保健師課程に関する科目及び教職に関する科目の単位数は、卒業所要単位には含めないの注意すること。

学科別履修要領／看護学科

II. 履修上の注意事項

1. 看護師国家試験受験資格を取得しようとする者は、本学に4年以上在学し、学則第35条第1項第2号に定める単位すなわち、上記卒業所要単位を修得しなければならない。
2. 保健師国家試験受験資格を取得しようとする者は、本学に4年以上在学し、学則第35条第1項第2号に定める単位すなわち、上記の卒業所要単位を修得するとともに、別表Aに示す「保健師国家試験受験資格取得に必要な単位数」の26単位を修得しなければならない。保健師課程は定員30名の選択制であるため選択者の選定を行う。選定時期は第2学年後期末とし、所定の履修要件に従い判断する。

別表A 保健師国家試験受験資格取得に必要な単位数

区分	看護学科で開設している授業科目	授業形態	開設単位数		資格取得に必要な単位数	
			必修	選択	必修	選択
専門基礎分野	保健医療福祉総論	講義	2		2	
	保健統計学	講義	2		2	
	保健医療福祉行政論	講義		1	1	
専門分野	地域看護学概論	講義	1		1	
	地域包括ケア論	演習	1		1	
	学校保健	講義		2	2	
	健康相談の理論と方法	講義		2	2	
	疫学	講義		2	2	
	看護管理論	講義	1		1	
保健師分野	公衆衛生看護学概論	講義		2	2	
	公衆衛生看護展開論	講義		2	2	
	公衆衛生看護展開論演習	演習		2	2	
	健康教育の理論と方法	講義		2	2	
	公衆衛生看護管理論	講義		1	1	
	産業保健	講義		1	1	
	公衆衛生看護学実習Ⅰ	実習		2	2	
	公衆衛生看護学実習Ⅱ	実習		3	3	
合計			7	22	29	

3. 養護教諭一種免許状の取得

- (1) 養護教諭一種免許状を取得するには、本学に4年以上在学し卒業所要単位を修得することが「基礎資格」であり、かつ、別表B及び別表Cに示す必修科目、合計58単位以上を修得しなければならない。

また、基礎科目については、「教育職員免許法施行規則第66条の6」に定める別表Dの科目を8単位修得しなければならない。

- (2) 養護教諭一種免許状取得に必要な単位を修得した者には、免許状申請にかかる所定の手続きを経たのち、**兵庫県教育委員会**から免許状が授与される。
- (3) 養護教諭一種免許状の有効期間は10年で、更新には免許状更新講習が必要となる。

4. 養護教諭二種免許状の取得

- (1) 養護教諭二種免許状を取得するには、別表D「教育職員免許法施行規則第66条の6」に定める科目を8単位修得していなければならない。
- (2) 保健師免許取得後に上記の単位修得証明書を添付し、免許状申請にかかる所定の手続きを経たのち、居住地の教育委員会から免許状が授与される。
- (3) 養護教諭二種免許状の有効期間は、保健師免許取得後10年間で、更新には免許状更新講習が必要となる。

MEMO

別表B 養護教諭一種免許状取得に必要な単位数

免許法施行規則に定める 科目区分	単位数	左記に対応する開設授業科目			備 考	
		授 業 科 目	単位数			
			必修	選択		
衛生学及び公衆衛生学 (予防医学を含む。)	4	健康科学総論 公衆衛生学 疫学	1 2 2		予防医学を 含む	
学校保健	2	学校保健	2			
養護概説	2	養護概説	2			
健康相談活動の理論及び方法	2	健康相談の理論と方法	2			
栄養学 (食品学を含む。)	2	栄養学	2			
解剖学及び生理学	2	看護解剖生理学Ⅰ 看護解剖生理学Ⅱ	1 1			
「微生物学、免疫学、薬理概論」	2	感染看護学 薬理学	1 1			
精神保健	2	精神看護学概論 精神看護特性論	1 1			
看護学 (臨床実習及び救急処置を含む。)	10	看護学概論 生活健康論 小児看護学概論 クリティカルケアⅠ 小児援助論 母子支援実習Ⅰ (小児)	2 2 1 2 2 2			救急処置 臨床実習
合 計	28		30			

別表C 養護教諭一種免許状取得に必要な単位数

免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目	単位数		備考
科目	各科目に含める ことが必要な事項	単位数	授業科目	必修	選択	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	8	教育原論	2		
	教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)		教職概論	2		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育社会学	2		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	2		
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育	1		
	教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程総論	2		
道徳、総合的な学習の時間、 内容及び生徒指導、教育相談等 に関する科目	道徳、総合的な学習の時間及び特別活動に関する内容	6	道徳教育と特別活動論	2		
	教育の方法及び技術 (情報機器及び教材の活用を含む。)		総合的な学習の時間の指導法	1		
	生徒指導の理論及び方法		教育方法・技術論	2		
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		生徒指導論	2		
			教育相談	2		
教育実践に関する科目	養護実習	5	養護実習指導	1		
			養護実習Ⅰ	1		
			養護実習Ⅱ	3		
	学校体験活動					
	教職実践演習	2	教職実践演習(養護)	2		
合 計		21		27		

別表D 養護教諭一種免許状取得に必要な単位数

1. 第66条の6に定める科目

免許法施行規則に定める 科目区分	単位数	左記に対応する開設授業科目			備考
		授 業 科 目	単 位 数		
			必修	選択	
日本国憲法	2	日本国憲法	2		
体育	2	健康スポーツ科学Ⅰ	1		
		健康スポーツ科学Ⅱ	1		
外国語コミュニケーション	2	英語コミュニケーションⅠ	1		
		英語コミュニケーションⅡ	1		
情報機器の操作	2	情報基礎	1		
		情報メディア演習	1		
合 計	8		8		

注) 養護教諭二種免許状を取得する場合も、上記の単位修得が必要です。